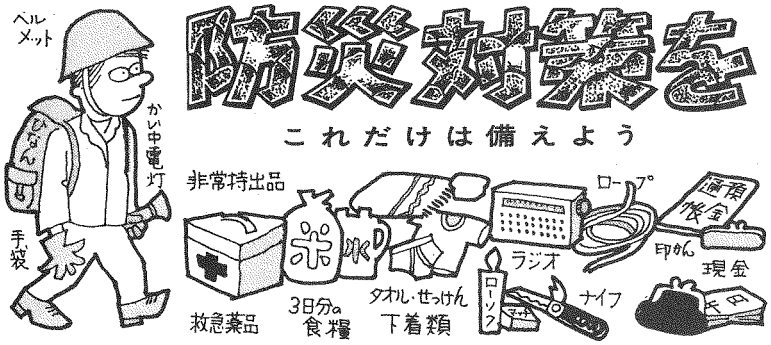
No. 425　(12月号)

広報ひらつか

人口　232,579人
世帯　74,696世帯
(61年11月1日現在)

昭和61年12月15日／毎月15日発行／95,000部／神奈川県平塚市役所発行
編集・企画部広報課／〒254　平塚市浅間町9番1号　電話23－1111



東京へ避難してきた島民たち―毎日新聞提供―

他人事ではない 三原山の大噴火

▽…伊豆大島三原山が噴火してちょうど一か月、島民はやっと落ち着きを取り…△
▽…戻したようですが、あなたの家庭の防災対策はいかがでしょう。先日開か…△
▽…れた東海地震の防災対策強化判定会では「影響薄い」といっていますが、い…△
▽…つ起きるかわからないのが大地震。三原山の噴火を教訓に、各家庭の防災…△
▽…対策を、もう一度見直し、家族で話し合ってください。……△

伊豆大島三原山は、十一月十五日(土)午後五時二十五分ごろ、突然噴火しました。さらに、十一月二十一日(金)午後四時十七分ごろ、三原山北西側の外輪山で、再度大規模な噴火が始まり、島民は船舶で避難することになりました。急な避難命令だったため多くの島民は、着のみ着のままの状態で、島を脱出しています。

避難の時何を持って

それでは、どんなものを持って避難したのでしょうか。

東京都の避難場所に落ち着いた人々に訪ねてみると、着のみ着のままの方や、少しの着がえ、位はいだけの方などさまざまです。新聞報道されたものも併せてまとめてみると…

①預金通帳と着がえ
②子供のおしめと粉ミルク
③登記書類と夫婦の着がえ
④衣類　おにぎり、保険証
⑤着のみ着のまま
⑥着がえ、預金通帳、現金
⑦貴重品をわずか
⑧先祖の位はいと過去帳
⑨貰ったばかりのラジカセ
⑩仕事の書類だけ
⑪ペット
⑫即席ラーメン20個

などが主なものです。

港区田町スポーツセンターに避難した島民―毎日新聞提供―

心配なことは

①家にカギをかけなかった
②にわとりを残してきた
③家の状態が知りたい
④自宅に残した犬と猫
⑤家畜のえさ
⑥血圧の薬を忘れた
⑦いつ島へ帰れるか

などとなっています。

このように、心配や不安はつのるばかりです。それに、何百人もの雑居からくるストレスなど、生活にやすらぎが感じられません。

自治会組織運営を

視察した港区田町スポーツセンターは、約一千五百人が入所しており、体育館内を四ブロックに分け、自治会組織的に運営しています。

歯ブラシ等の洗面用具や日用品はすぐ支給され、下着類も一回支給されています。洗濯機は十五台ありフル回転、利用できない方は、近くのコインランドリーを使用しています。食事は三食とも仕出し弁当のためか、生野菜が不足していると話しておりました。寝具類は、毛布とふとんだけで、シーツはありませんでした。

各家庭で防災会議を

このように、災害は「いつ」私たちを襲ってくるかわかりません。常日ごろから、各家庭の防災会議などを開き、事前の対策を考えておくことが大切です。

◆家庭の防災会議

地震などの災害が発生した場合、家族全員があわてずに行動できるよう、ふだんから話し合って、それぞれ分担を決めておくことが大切です。

①火の元はどうするか
②家の中で一番安全な場所は
③避難するときの持ち物とその点検
④安全な避難方法
⑤家族が離ればなれになったときの落ち合う場所と連絡方法
⑥家畜やペットはどうするか

以上のことは、必ず家庭で話し合ってください。また、家族全員がいる場合やいない場合なども考えてください。

非常持出品は

いつでも持ち出せるように各家庭でも用意が必要です。

①三日分の食糧と飲料水
②着がえ(季節にあわせて)
③預金通帳、印かん　④現金
⑤懐中電灯　⑥タオル、石けん　⑦トランジスターラジオ
⑧救急薬品　⑨ヘルメット
⑩ローソク、マッチ

以上の外に、老人、病人、乳幼児のことも考えて、持出品を考えることが必要です。

情報伝達は 平塚市 防災無線で

平塚市から市民のみなさんへ情報を伝達する方法は、市内五十二か所にある防災無線と広報車でお知らせします。また、離聴地域は増設計画の準備を進めています。

しかし、これだけでは十分ではありません。特に、最近は自動車騒音や生活騒音が高いことと、音の重なり(エコー)や風向きにより、屋外放送は聞きとりにくくなっています。また、テレビやラジオがついていると、家の中ではわからないこともあります。

そこで、自治会ごとに設置してある自主防災組織の情報班から、情報を流していただこうと、自主防災会長宅に防災無線と同じ内容が室内で聞ける「戸別受信機」を、二百四個配布しています。

また、いざというときは、市内小学校区単位に二十五か所の拠点基地を設けて、その付近に住む市職員(10人～15人)を配備し、相互交信のできる可搬式無線機を持たせ、市の対策本部と情報の収集と伝達を行い、自主防災会(自治会)に情報をお知らせするようにしています。もちろん拠点基地には、災害を迎え撃つための災害用の七つ道具や、飲料水を確保するろ水機も配置されています。

市民のみなさん、自主防災会を通して、ぜひ、ご協力いただきたいと思います。

今月の話題 市長の豆小説 ―119―

人が穀物を常食するようになったときから、各地で特産物を生かし、さまざまな食べ方が工夫されてきた。運動会、遠足のお弁当、そして夜食にと、「おにぎり」にまつわる心あたたまる思い出を、どなたもお持ちだろう。

そこで今回、全国農水産まつりの一環として、米の消費拡大を図るため実施された、「ふるさとおにぎり百選」に入選した、城島地区小鍋島の「鳥めしおにぎり」を紹介しよう。城島地区は平塚市の穀倉地帯。鳥めしの伝承普及に取り組んでいる如月(きさらぎ)会の皆さんに、お話を伺った。

いつの頃からか、小鍋島上に伝わる郷土料理、卵を産まなくなった鶏を用い、米、ごぼう、こんにゃく、鶏肉五百グラム、ごぼう二本、砂糖・しょう油・酒またはみりん・調味料はお好みに。ごぼうをささがき、鶏肉は小口切りにし、混ぜごはん炊き込みごはんの要領で作る。温かくてもおいしくいただける。

現在の豊かな生活の中にあって、私たちはこうした素朴な味をかみしめ、先人の知恵を学びたいものである。

ぼうと手元にある材料を生かし「鳥めし」が作られた。夜「ちょうちん」をつけて、ごぼう掘り。鶏を解体するのは男の仕事。骨を石の上でたたいてダンゴにし、米を炊き込む。すてるところはない。鶏肉とごぼうは相性が良く、大変消化が良いので、すぐにおなかがすき、十三杯半も食べたおじいさんもあったとか。

お月見、どんど焼き、共同作業後の食事として年中行事にまつわる思い出話は多い。そして今、若い主婦に受け継がれ、誕生日、彼岸、祝日等に作られ、ふる里の味として親しまれている。

去る十一月十五日、東京晴海の全国農水産まつりの会場で実演・配布したところ、大好評でアッと言う間に品切れになった。

材料は米五合、鶏肉五百グラム、ごぼう二本、砂糖・しょう油・酒またはみりん・調味料はお好みに。ごぼうをささがき、鶏肉は小口切りにし、混ぜごはん炊き込みごはんの要領で作る。温かくてもおいしくいただける。

鳥めしおにぎりが全国百選に

東京晴海ふ頭で開かれた全国農水産まつりで、平塚市の「鳥めしおにぎり」が〝全国ふるさとおにぎり百選〟に選ばれた。その模様を吉川信子さん（東中原）にお願いした。

全国大会で実演した小鍋島上の皆さん

事故ゼロに！

年末年始の特別警戒

犯罪・交通・酒酔い・火災

いよいよ年の瀬。今年も残り少なくなった。この時期は、一年の締めくくりということから、何かと気ぜわしくなり、ともすれば犯罪や事故、火災に対する警戒心が薄れがちになる。また、一方では、お金の必要性に迫られ、ひったくりなどの犯罪を行う人が多くなる。皆さん、被害にあわないよう、年末年始の特別警戒に協力を。

警察では、十二月一日から一月十日まで「年末年始特別警戒」期間とし、犯罪や交通事故を防止するため、特別警戒を実施している。

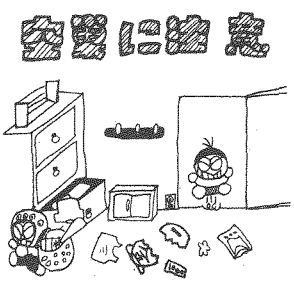
皆さんも次のことに心がけ明るい新年を迎えていただきたい。

空き巣にご用心

空き巣被害の八三％は、木造の住宅やアパートとなっている。一戸建て住宅では、サッシ窓を壊され、アパートはかぎをかけ忘れた玄関などから入られている。忍び込みは木造住宅が多くねらわれ、かぎをかけ忘れた窓から入られている。

◆戸締まりの確認と補助錠をめよう。

◆外出するときや寝る前には戸締まりが安全かどうか確か



小島大輔君の作品（勝原小６年）

◆お隣りさんにひと声を

ドロボーは、人の目を最も警戒する。外出するときは、隣りの人や管理人に留守を頼もう。

◆知らない人にはひと声を

アパートの廊下などで知らない人を見かけたときは「どちらをおたずねですか」と、〝ひと声〟かけて用件を確かめる。

スリにご用心を

年末は、多額の現金を持ち歩く機会が多くなるから、スリやひったくりにねらわれる。銀行などの金融機関を利用されるときは、行き帰りに十分注意すること。

◆スリの被害を防ぐには

買い物かごなどに財布を入れるときは、外から見えないようにする。ハンドバックなどは、無造作に持ったり、肩にかけないようにしよう。込み合う乗り物は、乗降口付近が最も危険。

◆ひったくりを防ぐため

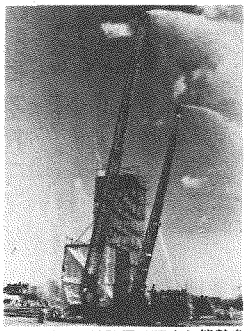
大金を持ち歩くときは、車を利用するか、二人以上で行う。人通りの少ない道、暗い道はさける。バックは、車道と反対側の手や脇の下にしっかり持つ。

◆自動車盗の被害に注意

自動車から離れるときは、必ずキーを抜き、ドアロックをしよう。

火の元の点検を

年の瀬のあわただしさに加えて、季節がら火気を使用する機会が多く、火災の発生が増加することが予想される。



歳末警戒で消防署は万全な態勢を

また、万一出火した場合は、延焼拡大の危険は大きい。

このため、消防本部では、十二月二十五日（木）から三十一日（水）までの年末に、「歳末火災特別警戒」を実施する。

期間中、消防署では、消防水利の点検整備をはじめ警備態勢の強化を図る。また、消防団では、期間中の二十九日（月）から三十一日（水）までの午後八時から十二時、分団平常に詰めて巡回警備などを行い、万全を図る。

なお、二十九日（月）には、消防長と消防団長が、三十日（火）には市長が各地区を巡視することになっている。

消防出初め式は1月6日

新春恒例の消防出初め式は、一月六日（火）に行われることになった。

当日は、消防本部、消防署、消防団、自衛消防隊が参加、消防演技を行う。また、平塚古式消防保存会による「まとい」の振り込みと「はしご」乗り演技の外に、震度体験をしてもらうため起震車も出動することになっている。

ぜひ、ご来場を。

▽期日　1月6日（火）

・午前9時30分　出初め式

・午前11時5分　演技

▽会場　消防総合訓練場

つき合い酒に注意

年末は、物資輸送などの増大により道路の交通が混雑する。また、これから忘年会・新年会など、何かと飲酒の機会が多くなり、酒酔い運転や酒気帯び運転による交通事故の多発が予想される。

市では、警察署、交通安全協会と一体となり、十二月十日（水）から一月十日（土）までの一か月間、飲酒・無謀運転の防止、シートベルトの正しい着用の徹底などを重点に、「年末年始の交通事故防止運動」を展開し、厳しい取り締まりを行っている。

皆さんは、「飲んだら乗るな・乗るなら飲むな」を肝に銘じ、交通事故のない明るい正月を迎えていただきたい。

シートベルト無着用は1点

高速道路のドライバーだけに義務付けられていた「シートベルトの着用」は、十一月一日からすべての道路で、ドライバーおよび助手席同乗者にも義務付けられ、違反したときには行政処分点数一点が科されている。

シートベルトを正しく締め安全運転をしよう。

緑化優良団体を表彰

平塚市緑化優良団体等表彰が、十一月八日（土）市役所新館会議室で行われた。

これは、市内の団体等で緑化の実践活動、樹木の保護・保全、緑の普及啓もう等に積極的に努め、他の模範となる団体等を表彰するもので、十二回目を迎えた今年は、次の団体等が受賞した。（敬称略）

【緑化優良団体】

四之宮公園愛護会、湘南高浜台ハイツグリーンクラブ、橋本産業株式会社平塚営業所、城島小学校、みずほ小学校

【緑化功労者】

青木卓司（豊原町）、守矢淳一（御殿）

高校生のボランティア

われら青春ING

20日にテレビ神奈川で放映

新人類といわれる高校生たちが、ボランティアとはどのように考えているのか。平塚農業高校のJRCを中心に、平塚工業高校の福祉委員会、高浜高校のたき火会の活動をカメラで追った。

内容は、彼らがギクシャクしながらも、素直に障害者とふれあいながら成長していく、高校生の青春物語。

この「われら青春！只今ING」は、テレビ神奈川「こんにちは神奈川」で放映する。ぜひご覧を。

▽放映日時　12月20日（土）午後5時45分～6時

▽放送局　TVK（テレビ神奈川・UHF）

なお、放映したテープは図書館視聴覚ライブラリーで貸し出す。ご利用を。

貴峯荘の文化祭でお手伝いする平農のみなさん

静かな街にしよう

ピアノや犬の泣き声は近隣騒音

気になる音がある場合は、相手に穏やかに話しかけよう。また、話をもちかけられたら謙虚に聞き、相手の立場を考えよう。

国民年金の優良団体を表彰

国民年金普及推進月間にあたり、年金普及活動に尽力された方々（団体）が表彰された。（敬称略）

▽社会保険庁長官表彰

別北納税貯蓄組合（代表越野高雄）、真田第二自治会（代表上野喜九治）

▽県知事表彰

国民年金委員　原源治（馬入）、木川忠（本宿）、二見信義（青柳）、宮川勝（堀之内）

民生・児童委員の委嘱を

今年は、三年に一度の民生委員の改選の年で、十二月一日をもって厚生大臣から委嘱された。

市内二十一地区民生委員協議会の民生・児童委員は二百八十七名で、そのうち新任民生委員は百四名。それぞれの地区の担当民生委員は、別にお知らせする。

問い合わせは、市福祉総務課（内線二一七）へ。

市民相談

市民相談室23―一一一一内線二九三

◇人権法律相談　12月16日（火）、1月6日（火）13時～16時

◇行政苦情相談　12月23日（火）、1月7日（水）13時～16時

◇一般法律相談　1月13日（火）

予約制（電話でも可）、13時～16時

◇登記、供託　測量相談　1月9日（金）、13時～16時

◇住宅相談　12月16日（火）、13時～16時

◇一般市民相談　毎日（ただし、土曜日は12時まで、日曜・祝日は除く）

◇消費生活相談　12月19日（金）、26日（金）、1月9日（金）、10時～15時

◇下請取引相談　12月18日（木）、13時30分～16時

◇支例年金相談　1月8日（木）、10時～15時

◇発明考案特許相談　1月5日（月）、10時～15時

青少年相談室（市民センター二階）

34―七三一一

月～金曜日9時～16時　土曜日は11時まで

◇悩みごとは〝ヤングテレホン〟　33―七八三〇

月～土曜日9時～18時30分

福祉会館

33―二三三三

◇心配ごと相談　毎週月曜日、13時～15時

◇母子相談　毎週月～金曜日、9時～15時30分

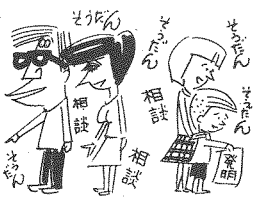
◇家庭児童相談　毎週月～金曜日、9時～16時

◇高齢者職業相談　毎週月～金曜日、9時30分～16時

土曜日は12時まで

◇婦人相談　毎月第3木曜日　10時～15時

お気軽にご利用を


そうだん
相談
相談
相談
そうだん
そうだん
そうだん

技能功労者を表彰

その道一筋に功績のあった方

石川京一市長から表彰を受ける技能功労者

昭和六十一年度の平塚市技能者表彰が、十一月二十七日に勤労会館で行われた。

これは、市民の中から同一職種に長く従事し、技能の練磨および後進の育成に努め、その職種の向上発展に功績のあった方を表彰するもので、今年で八回目。今回は、六十歳以上で三十年以上同一職種に従事し、模範的、指導的立場の技能功労者二十四人と、三十歳以上で十五年以上同一職種に従事している優秀技能者五十六人を表彰した。受賞された方は次のとおり。

【技能功労者】（敬称略）
・板金工　山田茂　・時計修理師　森國雄　・打綿職　若林長男　・製菓衛生師　内田栄一、小林一三　・豆腐製造職　田中茂男　・大工職　高木重夫、冨田七郎、栗原一男、飯田福松　・とび職　成瀬清　・畳職　石川賢次　・塗装工　高橋光太郎　・理容師　野崎千枝子　・調理師　樋口文太郎　・食肉技術師　小林明　・洋裁師　福島茂　・洋服仕立師　槻下春吉　・自転車組立整備士　小泉勝雅、大畑武治　・電気工事士　熊澤治義　・貴金属加工　青木好雄　・鮮魚調理師　西村浅太郎、島本福太郎

【優秀技能者】
・広告美術士　小池忠久、仲田禮子　・造園師　真壁勝富　・板金工　宮代保雄、坪井光男　・染物職　青木惣正　・建具職　加藤博、今井豊　・印刷工　藤田義明、久保田善三　・製菓衛生師　長沼超、杉山芳明　・豆腐製造職　森金太郎　・大工職　三橋保三、平野勇、小林馨、山田三郎、藤間富之、酒井俊一、熊澤清、秋山明　・瓦屋根ふき職　成田清　・左官職　稲葉勲　・とび職　原周治、中村茂　・配管工　中川勝、森紀一郎、伊藤國夫、実原寿和　・畳職　矢野年一、清田勇房　・塗装工　安田英雄　・表具師　青柳義信　・理容師　宮田政吉　・美容師　宮野朝子　・クリーニング師　西野弘一　・調理師　並木禮成岡作蔵、大津一郎　・食肉技術師　越智正行　・和裁師　小林道江　・洋裁師　高野美智恵、大久保武二　・洋服仕立師　須藤美好、益田弘　・自転車組立整備士　澤野徳造、栗田芳郎　・電気工事士　渡邊清、福田富治、原勉　・電子修理技術士　遠藤貞次郎、新強　・ガラス装着工　藤代啓之　・漁師　高山寛次郎、田中定雄、府川忠次

年末年始ごみの出し方

年末年始のごみ収集と、し尿収集日が決まったのでお知らせする。ぜひ、ご協力いただきたい。

可燃ごみ

年末年始の可燃収集については、

◆月・木収集地区　年末は、12月29日（月）まで。年始は、1月5日（月）から。
◆火・金収集地区　年末は、12月月30日（火）まで。年始は、1月6日（火）から。
◆水・土収集地区　年末は、12月27日（土）まで。年始は、1月4日（日）から。
◆月・水・金収集地区　年末は、12月29日（月）、30日（火）、年始は1月4日（日）に臨時収集。
◆火・木・土収集地区　年末は、12月30日（火）、年始は、1月4日（日）に臨時収集。

なお、一月五日（月）から平常どおり収集するが、一月十五日（祭）の収集はしない。

可燃不適ごみ

年末は、十二月二十七日（土）まで平常どおり収集する。年始は、一月五日（月）から平常どおり収集を始める。

したがって、十二月二十八日（日）から一月四日（日）まで収集しないのでご協力を。

資源ごみ

年末は、十二月二十七日（土）まで平常どおり収集する。年始は、一月五日（月）から平常どおり受け付ける。

・電話（55）六六二五

◇遠藤原一般廃棄物最終処分場

年末は、十二月三十日（火）正午まで受け付ける。年始は一月五日（月）から平常どおり受け付ける。

・電話（58）八四六六

◇粗大ごみ破砕処理場

年末は、業務用は十二月二十九日（月）正午、一般は三十日（火）正午まで受け付ける。年始は、一月五日（月）から平常どおり受け付ける。

・電話（22）四五五七

臨時ごみ

申し込み制の臨時ごみは、年末は、十二月二十七日（土）まで収集し、年始は、一月五日（月）から平常収集を始める。

◇大神環境衛生センター

年末は、十二月三十日（火）正午まで受け付ける。年始は、一月五日（月）から平常どおり受け付ける。

・電話（22）四五五七

ごみの持ち込み

年末年始のごみ収集日（火）、年始は1月4日（日）に臨時収集。

臨時くみ取り

各家庭のくみ取りは、二十日間隔で行っているが、年末年始の休みの間に、二十日目となる家庭のうち、十二月十一日（木）から十五日（月）の間にくみ取りをした家庭で、便槽が小さく間に合わない家庭に限り、臨時くみ取りを受け付ける。それ以外の家庭は受け付けをしないので、ご注意を。

なお、くみ取り作業は、十二月三十一日（水）から二月四日（日）までは休みとなる。

▽受け付け　十二月十五日（月）から二十日（土）までに、市環境衛生管理課（窓口14番）

▽持参するもの　印鑑、手数料三百二十円、し尿くみ取り確認カード（ピンク色）

・問い合わせ　市環境衛生管理課（内線二四二）

し尿収集

年末は、十二月三十日（火）まで平常どおり収集する。年始は、一月五日（月）から収集を始める。

・問い合わせ　市環境衛生業務課（内線五三〇）

清掃手数料納入を

年末は、十二月三十日（火）正午まで受け付ける。年始は、一月五日（月）から平常どおり受け付ける。

・電話（22）四五五七

1月15日は特別地区のみ収集を

一月十五日（水）は、成人の日で休日だが、第三回目の木曜日に「可燃不適ごみ」又は「資源ごみ」を収集している地区については特別収集をする。

※なお、収集日については、配布してある収集カレンダーをよく確認して、ゴミを出していただきたい。

・問い合わせ　市環境衛生業務課（内線五三〇）

南原地区を住居表示

市では、大字南原地区の住居表示の整備をすすめていたが、十一月十四日に開かれた平塚市住居表示審議会に諮問し、町の区域、住居表示の方法、町名および実施期日について答申を得た。

この答申に基づいて、十二月十五日から三十日間、案の公示を行い、議会に提案。議決後正式に決定されることになる。

今回実施するのは、金目川と鈴川の間の区域で、住居表示と合わせて新町名を南原四丁目とする。実施は昭和六十二年八月一日。町の面積は、約十二・〇六㌶。対象世帯は、約八十世帯。

なお、公示された案に異議のあるときは、公示の日から三十日（昭和六十一年十二月十五日～六十二年一月十四日）を経過するまでに、五十人以上の連署で理由を添えて変更の請求ができる。

詳しいことは、市計画課市街地整備係（内線四三〇）へ。

東海道本通りの愛称は…

湘南スターモール

シンボルマークも決まる

東海道本通りは、市民の憩いの場、明るい買い物公園として生まれ変わる。

そこで、東海道本通りモール協議会を中心に、新しい街並みにふさわしい"愛称"と"シンボルマーク"を募集していたが、このほど発表された。（敬称略）

【愛称募集】
愛称募集は、四百六十九点の応募があり、審査の結果「湘南スターモール」と決定した。

・入選「湘南スターモール」　田中克彦（札場町）
・佳作「ラリアード」…市川セキ子（鎌倉市）、「スターモール」…菊池恵子（横内団地）・石田時彦（明石町）、田中芳子（諏訪町）、小澤良明（万田）、菊池正美（横内団地）

【シンボルマークの募集】
シンボルマークは、百八十点の応募があった。東海道本通りと商店街、七夕まつりの星と短冊を形どった若林氏の作品が選ばれた。（上図）

・入選　若林薫（郷）
・佳作　奥津務（小田原市）、角田のりこ（秦野市）、根本芳衛（諏訪町）、小澤良明（万田）、菊池正美（横内団地）「サンライズロード」…岡田光夫（蛍平）、「ベルナード」…加藤君子（横浜市）

入居者を募集する

虹ケ浜に建設中の市営住宅

市では、昨年に引き続き虹ケ浜に建設中の市営住宅（中層5階建住宅・第一種）の入居者を募集する。

▽募集住宅　市営虹ケ浜住宅
▽申し込み資格　①昭和61年3月31日以前から市内に住民登録のうえ、引き続き居住していること　②夫婦（婚約者を含む）または親子を主体とした家族であること　③現に住宅に困っていることが明らかなこと　④収入が基準以内であること　⑤住民税等の滞納がないこと
▽収入基準　「募集のしおり」を見ていただきたい。
▽募集のしおり等配布　虹ケ浜建設中の市営住宅
・期間　12月15日（月）～12月24日（水）
・場所　建築課、市民相談室、駅ビル連絡所
▽申し込み　期間　12月22日（月）～12月24日（水）
・場所　市役所市民ホール
▽優先入居用住宅
今回の募集には、優先入居用住宅がある。対象は、第一種の入居資格がある母子・父子・心身障害者の各世帯。詳しくは、募集のしおりを見ていただきたい。
▽問い合わせ先　市建築課住宅係（内線四六三）

手続きを　入札参加

昭和六十二年・六十三年度の物品関係と、建設工事関係の入札参加登録手続きの日程が決まった。

すでに取り引きをしている業者も、更新の手続きが必要なのでお忘れなく。

【物品関係】
▽対象　市と物品、印刷、ビル清掃などの入札参加を希望する業者（市民病院関係も含む）
・用紙の頒布
・期間　1月16日（金）～2月10日（火）
・平日　午前9時～11時30分　午後1時～4時
・土曜日　午前11時30分まで
▽頒布金額　1部三百円
▽場所　用度課
なお、受け付け日は、別に指定する。

【工事関係】
▽用紙の頒布
・期間　1月16日（金）～2月10日（火）
・平日　午前9時～11時30分　午後1時～4時
・土曜日　午前11時30分まで
▽頒布金額　1部四百円
▽場所　建設総務課
なお、受け付け日は、別に指定する。

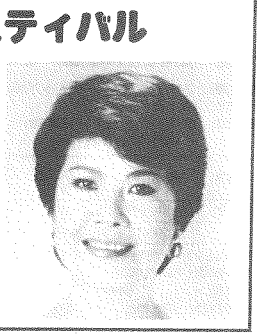
ふれあいフェスティバル

福祉基金感謝のつどい

とき　2月1日(日)
午後1時30分開演

ところ　市民センターホール

出演者　ペギー葉山、丸山浩路

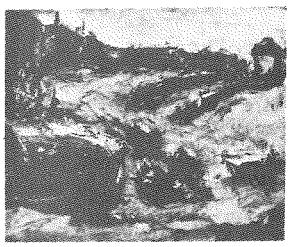


◇申し込み　入場整理券を1月10日から市民相談室、市民センター、駅前市民窓口センター、市立公民館で配布。
担当　福祉総務課

平塚観光文化展

平塚市の画家
"鳥海青児"

平塚市新収蔵資料を中心に
◇期間　1月15日～20日
◇会場　ひらつか市民プラザ
●内容　①鳥海青児氏の素描画20点　油彩の展示3点
②講演会　鳥海青児を語る
講師　美術評論家　田中穣氏
日時　1月18日(日)　午後1時30分
会場　市民センター会議室
担当　市商工課観光係


シベリア駅路の雪

農道や水路の整備
多い生活道路の拡幅など

③交通安全と防犯の推進…六十四件
④公園緑地の整備…五十四件
⑤環境美化の推進…四十六件
⑥下水道の整備…三十五件
⑦快適な住まいづくりの促進分を占めている。

【福祉社会環境】

三位は、福祉社会環境で百二十四件（一五％）となり、前年度とほぼ同じである。

この中で多いのは、交通安の普及が十七件と続いている。目立つのは、スポーツとレクリエーションの普及で、三倍近く増えたこと。これは平塚球場が完成したためである。前年度二十三件と多かっ

・時間　午前9時～午後4時（土曜日は午前中）
・場所　市役所付属B会議室
▽受け付け
・期日　1月14日（水）、16日（金）、17日（土）
・時間　午前9時～午後4時（土曜日は午前中）
・場所　市役所付属B会議室

なお、申込用紙の配布および入園受け付けの際、家庭の状況等をお聞きするので直接保護者の方が来ていただきた

年金受給者が死亡したとき

てから一年を経過していない方、年金が支給停止されている方、全額支給停止の解除後、一年を経過していない方は、現況届を提出する必要がないので用紙は送付されない。

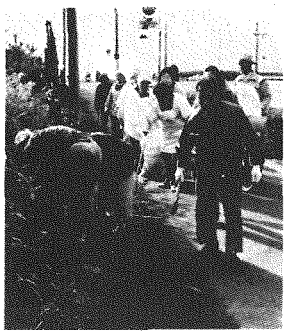
詳しいことは、市保険年金課年金係（内線二五二）へ。

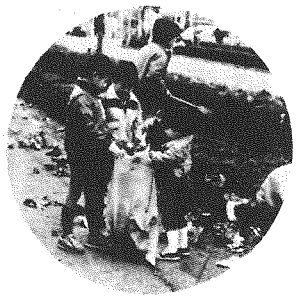
平塚スキー選手権大会開く

平塚スキー協会では、第十四回平塚スキー選手権大会を開く。

▽期日　1月23日（金）～25日（日）
▽会場　新潟県妙高村関温泉
▽競技種目　大回転・回転（女子、壮年、成年A、成年B、距離（壮年、成年）
▽参加資格　平塚スキー協会登録者および、市内在住、在勤の方
▽参加料　一万七千円
▽申し込み　所定の用紙に必

隣り近所が集まって大掃除





おにいちゃん、ぼくも手伝うよ

みんなの道路はみんなできれいに

ごみの資源化フェアとまちぐるみ大清掃

きれいな街で新年を

カメラレポート

十一月三十日（日）、全市一斉にまちぐるみ大清掃が行われました。

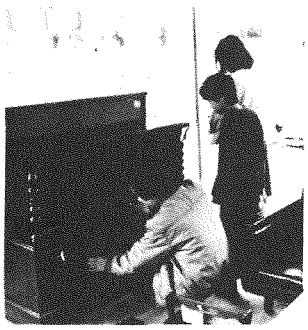
当日は、寒さにもめげず多くの人たちが、ほうきなどを片手に、道路、広場、公園等の公共の場所を清掃し、枯れ葉などで汚れていた場所がみるみるきれいになりました。

また、十二月五日（金）からは、中央公民館、浅間緑地の両会場で、「ごみの資源化フェア」が行われました。

催し物コーナーでは、あき缶みこしも登場し、ごみ処理のパネル展、古本販売、収集車の展示コーナーなどが設けられ、なかでもごみの中からこんなもの展では、新品同様の家具などに見学者はビックリ、申し込みが殺到するほどでした。

いつも渡る歩道橋も大掃除

ごみの中から健康器具が



ごみの中から新品同様の家具

ごみも他人に渡れば貴重品

ごみの中の古本も人のために

資源化フェア

12月20日（土）～22日（月）
紅谷パールロード

催し物
①みんなで考えよう資源化パネル展
②缶くいトラ
③あき缶みこし
④古本・古衣類コーナー
⑤ポスター標語展
⑥廃棄物の資源化パネル展
⑦あき缶買い上げコーナー
⑧収集車展示コーナー
⑨分別ステーションコーナー
⑩最終処分場の仕組み
⑪清掃工場と破砕処理場の仕組み
⑫資源化分別実績展
⑬ごみなんでも相談コーナー

実業団駅伝大会の出場募集

第二十六回市内実業団駅伝競走大会が二月十五日（日）に開催される。出場希望者は昭和六十二年一月十七日（土）までに、見附台体育館内体育課へ申し込みを。

出発時間やコースは、市内一周駅伝と同じ。

▽チーム編成　監督一、選手五、補欠二、計八名
▽参加資格　①市内の会社、事業所で編成するチーム（同一事業所に勤務している者で編成）で、十月一日から引き続き勤務する者に限る。②チーム編成は、同一事業所単位で一チームとする。③その外、主催者が認めたチーム
▽メンバー交換会　1月22日（木）午後7時見附台体育館

ソフトボール大会の結果

夜間照明のある江陽中学校で、第七回ナイターソフトボール大会が開かれた。

今大会には、市内各地区、各グループなどで編成した三十二チームが参加。熱戦の結果は次のとおり。

・優勝　横浜ゴム航部ソフト同好会
・2位　八幡
・3位　興陽サターズ

郵便局だより

年賀状は早めに

十二月十五日から、年賀状を。なお、新規受講者は、傷害保険料として六百五十円必要となる。

婦人バドミントン教室です

教育委員会では、婦人のふれあいの場と体力維持増進を目的とした婦人バドミントン教室を開く。

▽期日　1月27日（火）、29日（木）、2月3日（火）、5日（木）の午前9時30分から11時30分まで
▽会場　金田地区体育館
▽参加資格　市内在住の婦人
▽募集人員　30人
▽申し込み　教育委員会社会教育課（内線五七四）へ。

心のふるさと"雪の高山"を訪ねて

友好都市訪問市民ツアー

⊙日程・2月20日（金）7時平塚発―高山着
民俗村見学―宿舎着
・2月21日（土）市内見学（屋台会館、造り酒屋、高山陣屋、朝市、古い町並）
昼食は自己負担
・2月22日（日）市内見学―平塚着19時

⊙募集　40人（先着順）費用28,000円
・問い合わせ　市民部地域づくり課内線263
・申し込み　伊豆箱根トラベルKK
駅ビル3階　電話21―6058

読売日本交響楽団演奏会

と　き　62年2月14日（土）　ところ　市民センターホール

・指　揮　フリューベック・デ・ブルゴス
・ピアノ　堀江真理子
・曲　目　グリーク、ピアノ協奏曲
イ短調作品16他

入場料	指定席	自由席	
		一般	学生
前売	2,300円	1,800円	800円
当日	2,500円	2,000円	1,000円

※12月20日から前売開始。前売所は市民センター及び、市内レコード・楽器店、書店で取り扱う。
問い合わせ　市民センター電話32―2235

〝市民の声〟まとまる

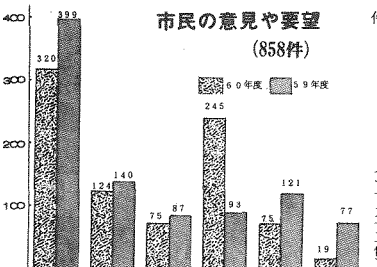
意見・要望・陳情など

企画部広報課では、市民の皆さんから寄せられた昭和六十年度中の意見や要望、陳情などを「市民の声」としてまとめた。

これは、市長への手紙、広聴パトロール、陳情、投書など広聴手段によって寄せられたもので、五百三十四通八百五十八件あった。前年度と比較すると五十二通、八十七件の減となっている。

件数の多いものをあげると①特色ある都市農業の振興…百九十三件②生活道路の整備…百三十三件…三十四件⑧交通施設の整備…三十三件⑨ふれあい商業の振興、労働環境の整備充実…二十一件となっている。

これを、総合開発計画の五本の柱に分けると…。



【生活環境】

一番多く寄せられたのが生活環境で三百二十件、と全体の三七%を占めている。この中で目立つのは、生活道路に関するもので百三十三件、次いで公園緑地の整備が五十四件、環境美化の推進四十六件と続いている。

【産業経済環境】

二位は、産業経済環境の二百四十五件で全体の二九%を占め、前年より大きく増加している。この中で目立つのは、特色ある都市農業の振興で百九十三件で七九%と大部分を占める。

【教育文化環境】

四位は、教育文化環境で七十五件(九%)となっている。多いのは、公民館に対する要望で十九件、次いでスポーツの振興とレクリエーション全と防犯の推進が六十四件(五二%)で、過半数を占めている。次いで健康の増進と医療の充実が十七件、障害者福祉の十六件と続いている。

【都市環境】

都市環境は、教育文化と同数で七十五件。交通施設の整備が三十三件(四四%)と多い。以下、通信機能の整備十件、河川・海岸の整備十件となっている。

た青少年の健全育成は、子育てをテーマに「まちづくり市民のつどい」を開いたためか、十一件に減少している。

公共下水道の整備

処理開始区域が広がる

昭和六十一年度事業で公共下水道の整備を行った区域が、十二月一日から処理開始となった。

▽**処理開始区域**

桜ヶ丘、中里、平塚二丁目、平塚四丁目、平塚五丁目、豊原町、見附町、錦町の各一部

▽**改造期限等**

下水道が処理開始されると、下水道の定めによりこの区域にある建物の所有者は、事業用汚水または、台所・風呂場・洗面所等の汚水を排水するための設備を、一年以内に設置しなくてはならない。また、くみ取り便所は、三年以内に水洗式に改造しなければならないことになっている。

なお、雨水の排水設備は、雨水を自然に返すことができるなど、色々な利点がある「平塚市型雨水地下浸透工法」で施行をお願いしているので、ご協力を。また、既設の水洗便所は、下水道処理区域になると不必要になるので、浄化槽を廃止し公共下水道へ、直接放流するよう改造していただきたい。

▽**工事は指定工事店で**

公共下水道が処理開始された区域内の排水設備工事や水洗化工事は、平塚市公共下水道指定工事店でなければできない。

▽**融資あっせん**

一般家庭や貸家・アパートの水洗化工事にお困りの方は、融資あっせん制度があるので、ご利用を。

▽問い合わせ　市業務課庶務係（内線四四七）

保育園の申し込み

福祉事務所では、昭和六十二年四月から保育園に入園を希望される方の受け付けを行う。ただし、吉沢保育園、明石町保育園の二園では、二歳未満の乳児の入園はできないのでご了承を。

▽申し込みできる方

子供の保育にあたる方が病気や働いているため、昼間面倒を見られない家庭。

▽申込用紙の配布

・期間　12月18日（木）～12月20日（土）

▽問い合わせ　市児童課保育係（内線二一四、二一五）へ。

年金の現況届を忘れずに

年金を受けている方が引き続いて年金を受けていくためには、毎年一回現況届を提出することになっている。

この現況届の提出期限は、年金を受けている方の「誕生月の末日」となっている。用紙は提出期限の約一か月前に、社会保険庁から直接本人あてに送付されるので、用紙が届いたら必要事項を記入押印のうえ、市民課で住民基本台帳に記載されている証明を受け、提出してほしい。

ただし、年金の裁定を受けている方が死亡すると、年金を受ける権利は消滅することになる。遺族の方などは、受給権者が死亡した日から十四日以内に「受給権者死亡届」を保険年金課（厚生年金の受給権者が死亡した場合は、平塚社会保険事務所）に届け出てほしい。この届け出には、受給権者の年金証書（年金証書を添えることができない場合は、その理由書）と、死亡者の住民票の除票を添付することになる。

なお、この届け出の提出が遅れると、死亡後に支払われた年金を返さなければならなくなることもあるので、受給権者が死亡したときは、すみやかに届け出をしてほしい。

詳しいことは、市保険年金課年金係（内線二五二）へ。

償却資産の申告を

市内に事務所（商店、工場、営業所等）を持つ償却資産の所有者は、毎年一月一日現在の償却資産を申告していただくことになっている。

申告期限は一月末となっているが、事務処理上できるだけ一月二十日までに申告していただきたい。なお、申告の対象となる償却資産がない場合も、その旨申告を。

▽対象となる償却資産

土地、家屋を除く事業用有形資産で、その減価償却費が所得計算上、損金または必要経費として算入されるもの（例えば、備品、工具、機械装置）。ただし、自動車税、軽自動車税が課せられているものは除く。

問い合わせは、市資産税課償却資産係（内線一九二）へ。

取り壊し家屋は必ず届け出を

固定資産税の賦課期日は、一月一日となっている。家を取り壊しても、法務局へ滅失登記をしていない場合や、市へ届け出を済ませていないと、固定資産税が課税されることがある。

問い合わせは、市資産税課家屋係（内線一八四）へ。

道路用地は非課税

公衆用道路として、土地の一部が使用されている所有者は、その道路部分を分筆し、登記が完了したときに市へ届けていただきたい。届け出のあった土地について調査のうえ、公共の用に供する道路としての要件がある土地に限り、届け出の翌年度から非課税の取り扱いとなる。

問い合わせは、市資産税課土地係（内線一八八）へ。

住宅用地を変更した方は申告を

土地にかかる固定資産税のうち、住宅の敷地として使用されている二百平方メートル未満の宅地の税金は、四分の一となる。また、二百平方メートル以上の宅地の税金は、二分の一となる。

そこで、次に該当する土地の所有者は、一月三十一日までにその旨申告していただきたい。なお、住宅用地とは、専用住宅または併用住宅の敷地に供されている土地のことをいう。

▽申告を必要とする土地

①昭和61年1月2日から62年1月1日までに、農地・山林等を転用し、または住宅用地以外の宅地から住宅用地となったもの　②前記と同じ期間に、住宅用地から非住宅用地となったもの

▽申請先　市資産税課土地係（内線一八八）

ミニ保有税

昭和五十九年一月二日から昭和六十年一月一日までの期間に、市街化区域内において取得した土地に対し、向こう十年間特別土地保有税が課せられる。ただし、建物、施設等に有効利用されている土地については免除。

▽対象となる土地

面積が五百平方メートル以上五千平方メートル未満

▽問い合わせ　市資産税課土地係（内線二八八）へ。

長期営農継続農地の申告は期限内に

市街化区域農地のうち、納税義務が免除（猶予）となる長期営農継続農地としての認定を希望される方は、必ず期限内に申告を。

▽対象農地

①昭和61年中に地目変換等によって、市街化区域農地になった農地　②認定農地の所有者が死亡し、その相続人が引き続き長期営農継続農地として、認定を希望する農地

▽認定要件

①一団の農地面積が九百九十平方メートル以上である場合　②市内における一農家単位の経営規模が九百九十平方メートル以上である場合

▽申告期限　1月20日（火）

問い合わせは、市資産税課土地係（内線二八八）へ。

市県民税の納期

今月は、市県民税第四期の納期である。納期限は、年末年始休みのため、一月五日（月）となる。

納期内に、近くの金融機関（郵便局は除く）に納付していただきたい。

最低賃金の改定

神奈川県最低賃金額が、昭和六十一年十月八日から一日三千七百九十九円、一時間四百七十五円に改正されている。

また、このほど産業別最低賃金額が決定された。詳しくは、平塚労働基準監督署（電話32―四六〇〇）へ。

婦人体力づくり教室を開く

教育委員会では、ジョギングを主体とした第四回婦人体力づくり教室を開く。

▽期間　1月13日（火）から3月26日（木）までの火・木曜日の17日間

▽コースと時間

・第1コース　午前9時30分～10時40分　定員百名

・第2コース　午前10時50分～12時　定員百名

▽会場　金田地区体育館

▽参加資格　市内在住の婦人

▽申し込み　12月22日（月）午前8時30分から見附台体育館内体育課（電話31―三〇六〇）で受け付ける。印鑑持参のうえ、本人が直接申し込み

市民スキー講習会です

第三十五回平塚市民スキー講習会が、今年度も平塚スキー協会の協力で開かれる。ご参加を。

▽期日　2月20日（金）～23日（月）3泊4日（車中1泊）

▽会場　菅平高原スキー場

▽宿舎　リゾートイン菅平スイストホテル

▽会費　二万八千円

▽募集人員　80人（定員になり次第締め切り）

▽参加資格　市内在住、在勤、在学者で、満16歳以上の男女

▽申し込み　所定の用紙に必要事項を記入のうえ、会費を添えて、市内見附町16―1見附台体育館内体育課（電話31―三〇六〇）へ。

▽受け付開始　12月16日（火）

要事項を記入のうえ、参加料を添えて、昭和62年1月16日（金）までに市内見附町16―1見附台体育館内体育課・市民スキー選手権大会係へ。

キャンセル待ち

年末・年始は、帰省客などで列車が大変混雑し、列車の指定席券等を求められない方が多くなる。

このため、旅行センターではキャンセル待ちを電話でも受け付けている。

◎**臨時電車で初詣**

▽期日　1月24日（土）

▽場所　成田山

▽会費　六千二百二十円

問い合わせは、国鉄平塚駅旅行センター（ラスカ1階・電話23―二六三〇）へ。

新春経済講演会

日　時	62年1月8日(木)午後2時
会　場	平塚商工会議所大ホール
テーマ	1987年日本経済の展望
講　師	NHK政治部デスク 小浜雅人氏
申し込み	市商工課商業係（内線548）

説明会開く

新湘南国道の環境影響予測評価書案

新湘南国道の環境影響予測評価書案の説明会を開く。

▽日時　12月18日（木）午前10時～12時

▽場所　平塚商工会議所

期間中に意見書を提出できる。

▽縦覧場所　都市部計画課

▽縦覧期間　12月12日（金）～26日（金）

用途地域変更案の縦覧

平塚都市計画用途地域の変更案等について、次のとおり縦覧を行っている。変更案に対して意見のある方は、縦覧期間中に意見書を提出できる。

▽縦覧場所　都市部計画課

▽縦覧期間　12月12日（金）～26日（金）

体育館の開放日

自由に利用できます

◇**見附台体育館**（電話31―3057）

※改修工事のため、3月31日まで休館

◇**金田地区体育館**（電話31―2136）

・**開放種目**　バレー（9時～13時）、バドミントン、卓球（13時～16時）、バスケット（16時～20時）

・12月15日（月）午前9時～午後8時

・1月19日（月）　〃

※2月分の申し込みは1月7日9時から

各種目ともラケット、シャトル、ボールは各自持参を、また、上ばき用運動ぐつを用意すること。

第33回市内一周駅伝競走大会

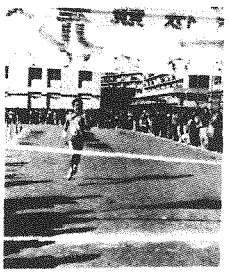
地区のために温かいご声援を

とき　1月11日（日）雨天決行

午前7時50分開会、8時30分出発

コース

第1区	市役所―消防署神田出張所	6.7km
第2区	神田出張所―豊田新幹線手前	4.4km
第3区	豊田新幹線手前―真田入口	5.3km
第4区	真田入口―吉沢小学校	6.2km
第5区	吉沢小学校―山城中学校	5.7km



担当　教育委員会体育課　電話31―3060

入賞おめでとう

観光風景写生コンクール

平塚の身近な風景や観光行事を広く紹介しようと、第十八回平塚観光風景写生コンクールが行われ、このほど入賞者が決まった。

最高賞の小島沙織さんの作品

入賞作品は、産業まつり期間中に会場で展示され、今後機会あることに広く紹介される。入賞された方々は、次のとおり。（敬称略）

【最高賞】
・県知事賞　小島沙織（大原小3年）
・市長賞　重田麗子（松原小6年）
・県観光協会長賞　丸山輝美（横内小5年）
・県教育長賞　小林俊介（大原小1年）
・神奈川新聞社賞　稲葉大助（大原小3年）

【金賞】小学校低学年の部
麥科昌平（天原小1）、市川三奈子（大磯小2年）、伴健太郎（大原小3年）

【金賞】小学生高学年の部
大谷昌輝（松原小4年）、佐藤清美（松原小6年）、宍戸大樹（松原小6年）

【金賞】中学生の部
井手野睦子（浜岳中2年）

【特別賞】幼児の部
・教育美術振興会賞　皆川恭子（さきとり幼）、遠藤久（平岡幼）、飯田真之（大磯幼）

ごみのポスターと標語

最優秀賞の小林礼奈さんの作品

十月から、市内全域で新しいごみの分別収集が開始されたため、この分別収集と資源リサイクルを推進しようと、小学生からポスターと標語を募集したところ、ポスター二百八十九点、標語八百十六点の応募があり、この程次のとおり入賞者が決まった。（敬称略）

【ポスター】
▽最優秀賞　小林礼奈（花水小6年）
▽金賞　山口潤（花水小6年）、栗田朋香（旭小5年）、関谷満（金目小4年）
▽銀賞　小飯塚浩道（花水小6年）、太田こずえ（花水小6年）、松本和之（旭小5年）、高橋陽介（旭小5年）、内田緩奈（なでしこ小4年）
▽銅賞　河崎靖子（花水小6年）、石田英子（旭小5年）、中村由里子（旭小5年）、家永由紀枝（金目小4年）

【標語】
▽最優秀賞　「知ってます私も分けます家のごみ」　堀川綾乃（豊田小3年）
▽金賞　小畑ルミ（金目小4年）
▽銀賞　布施裕子（花水小5年）、今井英津子（第善小5年）
▽銅賞　二見貴啓（大野小6年）、吉田亜也子（金目小5年）、山田菜穂子（金目小5年）、榎本武靖（金目小6年）

国連作文・ポスター

国連協会では、国際連合とその活動および国際理解・国際協力の必要性の認識を深めるため、ポスター・作文コンテストを実施している。

このほど、昭和六十一年度の全国大会、県大会が開かれ入賞者が決まった。平塚支部関係の入賞者は次のとおり。（敬称略）

【全国大会】
▽ポスターの部
・優秀　田中誠治（港小1年）
・佳作　松前喜之（藤沢北高3年）
▽作文（中学生のみ）
・佳作　小林由紀子（大住中3年）

【県大会】
▽ポスターの部
・優秀　田中誠治（港小1年）、白井美幸（大原小3年）、大芦一晴（松が丘小4年）、斉藤日登美（金田小5年）、高部貴美子（金旭中1年）、村田泰幸（二宮高2年）、村田幸子（大原高2年）、松前喜之（藤沢北高3年）、岩佐利恵子（大原高3年）
・佳作　大野緑（山下小1年）、和田あき子（港小2年）、山梨貴子（城島小3年）、北村智子（大原小5年）、祐川敬則（大住中1年）、村田恵理（春日野中3年）、山本伸子（大原高3年）、井上茂内藤モト、原田敏江（以上一般）

市民文芸の募集

教育委員会では、市民の皆さんの文芸活動の振興と普及をねらいに、市民文芸「冬の部」の作品を募集している。

▽題
・俳句　冬の星、コート（通じて3句まで）
・短歌　冬の雑詠（2首まで）
・川柳　元気（自由表現3句まで）
・詩　現代詩（1編）

▽応募用紙　官製はがき（詩は原稿用紙）
▽応募資格　市内在住、在勤、在学者
▽締め切り　12月23日（火）
▽注意事項　①未発表の本人自身の作品に限る　②部門ごとに別葉のはがきを使用すること　③かい書で明確に書くこと　④部門、住所（郡、部屋番号）、氏名、電話番号をはがきの表に明記すること　⑤市外在住者は、勤務先等を併記すること
▽あて先　〒254平塚市浅間町9－1　平塚市教育委員会社会教育課（内線五七四）

市展10周年展を

平塚市展も回を重ねて十回を迎えることになり、その十周年記念展の日程がこの程決まった。多数の力作を募集する。

▽搬入日　3月15日（日）
▽会場　中央公民館
▽展示期間　3月25日（水）～4月19日（日）
▽部門　書道、工芸、美術、写真
問い合わせは、市社会教育課指導係（内線五七四）へ。

市民合唱祭の出演団体募集

来年三月一日に開催する、市民合唱祭の出演希望団体を募集する。ただし、市内で活動しているアマチュアコーラスグループ。

希望される団体は、十二月二十日までに、電話で市民センター（電話32－三三五）へ申し込みを。

市民ブラザ

・市民プラザ　23－六三二九

【千草会書道展と月斉会愛蔵品展】
会員の習った書と、書画骨とう等を展示
・期間　12月18日～12月25日

【第4回ひらつかたのしい書初展】
・期間　1月4日～1月6日

【波の子会作品展】
陶芸、工作、粘土等四百点を展示
・期間　1月8日～1月13日

【平塚観光文化展】
平塚の画家鳥海青児の絵画23点を中心に、相模川以西の各市町村の史誌を展示
・期間　1月15日～1月20日

【古川タクミとその仲間達展】（電話34－二一一一）
・期間　12月17日～12月21日

【第47回書初展覧会】
・期間　1月11日～1月18日

市民ギャラリー

・中央公民館市民ギャラリー

中央公民館

年末年始の休館日

中央公民館は、十二月二十七日（土）から一月五日（月）まで年末年始の休館となる。なお、これにより一月の一括受付日は、一月六日（火）となるのでご注意を。

・中央公民館　電話34－二一一一

新着図書

小説・文学

ヒント日本見聞記　杉本苑子
新選組が行く　上　童門冬二
女が家を買うとき　松原淳子
法　廷　伊佐千尋
明日という日　神吉拓郎
結婚を考えるあなたに　PHP研究所編
考証　宮本武蔵　戸部新十郎
男と女の交差点　円地文子
透谷詩考　橋詰静子
家族解散　糸井重里
ジョン・レノン詩集　ジョン・レノン
夜が傷つけた　北方謙三
海の祭礼　吉村　昭
夏草の賦　司馬遼太郎
M／Tと森のフシギの物語　大江健三郎

家庭・生活

魅力の和紙絵　佐藤香石
屋号・商標100選　島　武史
健康食だいこん　畑　明美ほか
松竹大船撮影所前松尾食堂　山本若菜
旬・日本の味　柳原敏雄
ひも　額田　厳
セブン・イレブンはイトーヨーカ堂を超えられるか　若林照光
正直な誤診のはなし　田入　明
山田博士の暮らしの赤信号　PART1・2　山田博士

社会科学・その他

中国拳法打撃法　具　一寿
女王卑弥呼とユダヤ人　鹿島のぼる
釈迦の予言　菊村紀彦
90年代国際情報を読む　宮崎正弘
黒帯にかけた青春　山下泰裕
よい人生を生きる知恵　矢部正秋
フィリピンはもっと変わる　R・アビトほか
自観政要に学ぶ　早尾善雄
将軍が撮った明治　徳川慶喜写真
田舎暮らしの幸福　高橋義夫
いのち華やぐ　瀬戸内寂聴
金太郎飴の日本人　国井利泰
風にふかれてヨーロッパ　おおば比呂司
旅は歩くことなり　山浦正昭

移動図書館あおぞら号1月日程

海宝寺	6日	20日
※豊田公民館	6日	20日
※田村ちびっ子広場	7日	21日
城島公民館	8日	22日
※岡崎公民館	8日	22日
※金田公民館	9日	23日
ふじみ野利用地集会所	10日	24日
土屋小学校	13日	27日
※吉沢公民館	13日	27日
※松延小学校	14日	28日
金目小学校		29日
※みずほ小学校		29日
※万田貝塚市営住宅	16日	30日

・開設時間　13時30分～14時30分　※印は15時～16時　ふじみ野は14時～15時
・雨天のときは中止

博物館

☆星を見る会

「空の様子も大分変わり、オリオン座におうし座、おおいぬ座にこいぬ座、来年の干支の"うさぎ"座も空にのぼっている。今回は、博物館の望遠鏡で、冬の星座と上弦の月の表面を眺める。参加自由。

・日時　1月7日（水）17時30分～19時
・会場　科学教室～屋上

☆体験学習・星座早見盤を作ろう

星の見える方角や、時刻を調べるときに便利な早見盤を作り、星座の下で実際に使ってみる。

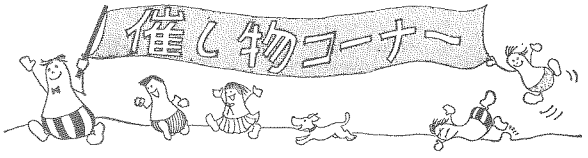
・日時　1月17日（土）16時～19時
・会場　科学教室
・参加費　200円（材料費）
・申し込み　1月7日（水）までに、住所、年齢、氏名を記入のうえ、往復はがきで。多数のときは、抽せんで30人。

☆寄贈品コーナー（1階）

「錦絵・渡辺コレクション」

一昨年、渡辺家より寄託（一部寄贈）を受けた錦絵の中から、尾形月耕（安政6年生まれ）の作品を中心に展示。1月30日まで。

・期間　12月2日（火）～1月30日（金）



☆休館日　毎週月曜日、12月28日～1月5日、1月15日、月末
☆博物館　〒254浅間町12－41電話33－5111

図書館

☆こども映画会（児童劇）

◎1月11日（日）10時、14時　3階ホール
「こむぎいろの天使」　カラー　75分
雄大な富士のふところに展開する少年と雀の愛と闘いの物語。

☆映画会

◎12月21日（日）10時、14時　3階ホール
「幸福の黄色いハンカチ」　カラー　108分
この作品は、ニューヨーク・タイムス、リーダース・ダイジェストに掲載されたピート・ハミル原作、山田洋次監督の脚本で、第1回日本アカデミー賞6部門受賞、その他映画会の各賞を受賞独占した話題の作品。
出演　高倉健、倍賞千恵子、桃井かおり、武田鉄也ほか。

☆視聴覚ライブラリー

視聴覚ライブラリーでは、映画フィルム等の視聴覚資料や、映写機などの教材の貸し出しを行っている。ご利用を。

・対象　市内の官公署、自治会、子供会等
・利用方法　団体登録カードに必要事項を記入し、代表者の印を押して提出していただきたい。団体利用券を交付する。
・貸出点数と期間　16㎜映画フィルム…上映時間3時間、貸し出しは7日以内。映写機等機材…貸し出し点数2点以内、貸し出しは5日以内。

☆新着フィルム紹介

お年寄りのためのマーサージ健康法（22分）、わが巡れみち（35分）、どうしてとびだしたの？（16分）、こんなときがいちばんあぶない（19分）、火事のあくる日（20分）、世界の公園シリーズ（20分）、釜本邦茂のサッカー実戦教室（25分）、日本の美術工芸（28分）、機巧人形（25分）、お父さんの宝島（41分）、ぼくの熊おじさん（46分）、咲ちゃんのおふろ屋さん（43分）、大空へはばたけ（40分）、二十四の瞳（71分）、赤い靴（11分）、クリスマスの贈り物（13分）

☆開館時間
・貸出室　参考室　9時～16時50分
・こども室　火～土曜日　13時～16時50分
　日　曜　日　9時～16時50分
☆休館日　毎週月曜日、12月28日～1月5日、1月15日、月末
☆図書館　〒254浅間町12－41電話31－0415

青少年会館

☆油絵教室

初心者のために、油絵を基礎から学ぶ。

・日程　1月25日～3月19日（毎月第1木曜日を除く毎週木曜日）
・時間　18時30分～21時
・対象　青年　15人（申込制）
☆休館日　毎週月曜日、12月28日～1月5日、1月16日
☆青少年会館　〒254浅間町12－41電話32－7029

■予防接種の時間
午後1時30分から3時まで。※印の会場は午後2時から3時まで。

百日せき・ジフテリア・破傷風

【個別接種】対象は生後6か月～24か月未満の幼児。原則として開業医病院で受ける。主治医とご相談を。
61年度は、第1期のみ接種。保険証と母子健康手帳を持参すること。
・料金　無料
【集団接種】対象は2歳（24か月）～4歳までの幼児。
■第1期（3回）　接種間隔は2回3回とも3週間～8週間
■第2期（1回）　第1期の3回目が終わってから1年以上1年6か月以内に受ける。なるべく4歳までに終了するように。
12月17日　横内公民館、旭北公民館※豊田公民館
12月18日　花水公民館、福祉会館、四之宮公民館
12月19日　保健センター、※中央農協土沢支所

はしか予防接種

■満12か月～72か月未満の幼児
■接種方法　開業医、病院で接種できる。料金は無料。主治医とご相談を。（7、8月を除く）
■保険証、母子健康手帳を持参

母親教室

妊娠中の心得、栄養のとり方、赤ちゃんの育て方、安産のために必要な知識や体操・呼吸法などを学ぶ。主治医の許可を得てから参加を。
■前期（妊娠6か月までの方）
・1月5日、12日
■後期（妊娠8か月以降の方）
・1月19日、26日
■時間　午後1時30分～4時
■会場　保健センター（34―0311）
■申し込み　当日直接会場へ。
■母子健康手帳、筆記用具、スラックス、さらし、裁縫道具を持参。

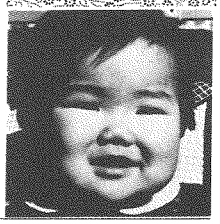
予防接種1月カレンダー

赤ちゃんの健康メモ

赤ちゃんのステージ

木村江里（きむらえり）ちゃん

☆平塚市土屋241　木村植物園で働く木村義広さん（26歳）とひろみさん（26歳）の長女。身長73cm、体重10kg、61年3月30日生。
近所の人たちが"エッちゃん"と呼んでくれるので、ごきげんの江里ちゃんは、いつも「にこにこ」あいきょうがよい。今日は、少しおすましの顔です。牛と犬が大好きで、夕方になると、おじいちゃんにおんぶしてもらい、散歩に行くのが楽しみのひとつ。



≪募集≫　＜応募＞官製はがきに住所・父母の氏名・赤ちゃんの名まえと生年月日・親の年齢・電話番号・父親の職業を書いてお出しください。対象は1年未満の赤ちゃんです。応募されたはがきは、毎月20日（20日消印まで）に締め切り、翌月の広報紙に掲載します。掲載した赤ちゃんには、記念写真と掲載広報紙10部を差しあげます。　＜今月の応募者は28人でした＞
■あて先　〒254浅間町9番1号　平塚市広報課赤ちゃん募集係。

■日時　1月10日　午前10時～11時30分
■内容　赤ちゃんに多い病気と育児
■会場　保健センター（34―0311）

お誕生前健康診査

生後10か月から12か月未満の赤ちゃんが受ける健康診査。くわしいことは平塚保健所（32―0130）へ。

乳幼児健康診査

■受付　午後1時～2時
■会場　保健センター
■母子健康手帳本冊・別冊と筆記用具を持参（歯科健康診査は歯ブラシも）
◉医科健康診査
【3か月児】
・1月7日　61年9月1日～10日生
・1月21日　61年9月11日～20日生
・1月28日　61年9月21日～30日生
【1歳6か月児】
・1月6日　60年7月1日～10日生
・1月13日　60年7月11日～20日生
・1月20日　60年7月21日～31日生
【3歳児】
・1月9日　58年11月1日～10日生
・1月16日　58年11月11日～20日生
・1月29日　58年11月21日～30日生
◉歯科健康診査
・1月22日　60年7月生まれの幼児

両親教室

新しくお父さん、お母さんになる方のために、両親教室を開く。ご夫婦おそろいで、ぜひご参加を。
■対象　妊娠8か月以降の初妊婦と夫
■日時　12月20日　午前9時30分～11時30分
■会場　保健センター（34―0311）
■内容　映画「生命創造」、実習「赤ちゃんのお風呂の入れ方」
■申し込み　電話で保健センターへ

育児相談

■対象　乳幼児
■相談日　毎週水曜日
■時間　午前9時30分～10時30分
■会場　保健センター
■内容　体重測定、栄養、病気、育て方、予防接種など
■母子健康手帳を持参

乳幼児歯科相談

■対象　2歳6か月までの乳幼児
■会場　平塚保健所
■日時　1月12日、19日、26日
■時間　午前9時～10時30分
■申し込み　電話で平塚保健所（32―0130）へ予約する。

乳幼児歯科教室

■対象　1月中に8か月から満1歳になる幼児の母親
■日時　1月28日　午前10時～11時
■会場　平塚保健所
■母子健康手帳と筆記用具を持参

育児教室

■対象　61年7月1日～9月30日生まれの子供のお母さん

がんの集団検診を

申し込みは1月31日まで

六十一年四月以降に一度も受診されていない方を対象に、がん集団検診を行う。
▽対象・料金
・胃がん検診　40歳以上の男女（五百円）
・子宮がん集団検診　30歳以上の婦人（四百円）
・乳がん検診　30歳以上の婦人（六百円）
▽会場　保健センター
▽実施時期　2月12日、2月17日
▽申し込み　官製はがきか指定申し込み書で健康課へ。
・官製はがきの場合は、希望する検診名、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、〒254平塚市浅間町9―1　平塚市役所健康課健康づくり係へ。
・指定申し込み書は、市役所、各地区公民館、駅ビルサービスセンター、健康普及員宅に用意してある。
▽締め切り　1月31日（土）
なお、先着順のため、今回もれた方は、四月の検診で受診していただく。
※日程については、検診日の一週間前に個人通知する。問い合わせは、市健康課（内線二五九）へ。

結核健康診査サービス業の方

結核に感染したり感染させる機会の多い仕事の方を対象に、定期外健康診査を行う。次の職業の方は、市や職場の定期健康診断を受けていても、必ず受診すること。
なお、最近三か月以内に、胸部のX線検査を受けた方は、受診する必要はない。
▽対象　旅館、飲食店、遊技場等で働いている方。保母、助産婦、歯科衛生士、マッサージ師、指圧師、はり・きゅう師等、理容、美容、クリーニング業等の方。
▽日程　別表のとおり。
▽問い合わせ　平塚保健所保健予防課（電話32―〇一三〇）

結核健康診査の日程

	10時～11時半	13時半～15時
1月13日	平塚保健所	平塚保健所
1月16日	平塚保健所	平塚保健所
1月26日	梅屋駐車場	海宝寺
1月27日	市民センター	市民センター
1月28日	四之宮公民館	神田公民館
1月29日	ドライブインほていや	——
2月3日	梅屋駐車場	農業会館
2月5日	——	日本たばこ産業体育センター
2月6日	農業会館	農業会館
2月9日	市民センター	市民センター
2月13日	平塚保健所	平塚保健所
2月24日	平塚保健所	平塚保健所

※平塚保健所は9時30分～12時、13時～15時

一般健康診査

自分の健康状態を自分で管理してもらうため、四十歳以上の方を対象に、無料の一般健康診査を実施している。
かかりつけの病院・医院（市民病院は除く）に相談のうえ、毎年、自分の誕生月に必ず健康診査を受けるようにしよう。
受診の際は、保険証を持参する。また、健康手帳をお持ちの方は、健康手帳もお忘れなく。
なお、十月には、一千三百二十七人の方が受診して、自分の健康を確かめている。
問い合わせは、市健康課（内線二五九）へ。

年末年始の休日診療所案内

年末・年始には、殆んどの医療機関が休みとなる。急病になったときは、休日急患診療所へ直接来所されるか、電話で照会を。
▽所在　平塚市中里34―17（春日野中学校北側）
▽電話　34―〇三一一
▽受付時間
・午前　9時30分～11時30分
・午後　1時30分～4時30分
・夜間　午後7時～10時30分
昼間の診療科目は、小児科、内科、外科、歯科で、耳鼻科、眼科等は医師を紹介する。また、夜間は、小児科、内科、外科を行う。
なお、診断を受ける場合には、健康保険証を忘れずに。

保健センター健康相談

◇毎週月曜日～金曜日
（午前中）
◇成人病相談
電話34―0311

不用品登録情報は

市役所地域づくり課市民生活係（内線二四四）へ。
▽譲ります　マタニティドレス、男児衣類（0～2歳、3歳）、幼児衣類（1歳、応接セット、二段ベッド、ステレオ、除湿器、ガストーブ（都市ガス）、木製風呂と釜（石油）、歩行器、ベビー体重計、ベビーバス、女児16ｲﾝﾁ自転車、カーシート（ピンク）、ベビーカー
▽譲ってください　男児衣類（5～6歳、9～13歳）、女児衣類（5～6歳、7～8歳）、ベビーダンス、電気掃除機、冷蔵庫、電気オーブン、ステンレス風呂と釜（プロパン）、剣道防具（大人用）、和文タイプ

みなさんのご協力で、問い合わせが増えている。ただし、問い合わせのときには、すでに決まっているときもあるので、ご了承を。

生活関連物資価格調査

消費生活モニター30人による11月の平均価格

品目	規格	小売店	スーパー
粉石けん	3kg	829円	898円
合成洗剤	2.65kg	875円	909円
サラダ油	700g	307円	353円
しょうゆ	1ﾘｯﾄﾙパック	254円	251円
トイレットペーパー	60m 4個入	206円	217円
豚肉	肩100g	167円	160円
鶏卵	M10個入	215円	219円
まあじ	丸100g	134円	133円
じゃがいも	1kg	148円	191円
みそ	1kg	290円	318円
食パン	1斤	155円	152円
マーガリン	225g入	189円	190円
プロパン	10m³	4,670円	—
灯油	18ﾘｯﾄﾙ配達	812円	—

マークのいろいろ

STマーク
このマークは、通産省が指導して定めた安全基準に、合格した玩具についている。
STマーク商品は、子供の安全を守るために、事故が発生することのないよう注意深く作られている。このマークが付いたおもちゃで事故が起きたときは、損害賠償される。

健康メモ

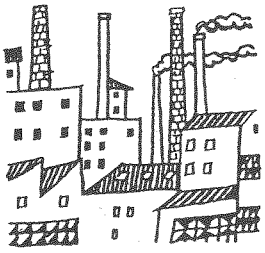
神経芽細胞腫

神経芽細胞腫は、赤ちゃんに多い小児がんのひとつで、尿を調べ見つけることができる。
この病気の検査は、三か月児健診のときにがんの特徴や検査方法を説明し、検査用紙のろ紙を配っている。赤ちゃんが生後六～八か月になったとき、ろ紙に尿をしみこませ、県立衛生研究所に郵送していただく。郵送後、二週間たっても通知がなければ心配ない。
尿検査の際の注意として、赤ちゃんにバニラエッセンスを多く含む離乳食（バナナ・アイスクリーム・ジュース等）を与えると、尿に陽性反応がでるので、二日前からの食事に気をつける必要がある。
県内でこれまでに、この検査によって一人が早期発見され、未検査児から二人が発病している。このがんは、一歳を過ぎてから発見すると治りにくいので、受け忘れのないように。

工業統計調査にご協力を

製造業の事業所のみなさんへ

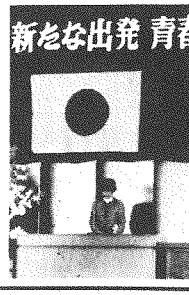
通商産業省では、昭和61年12月31日現在で、工業統計調査を行う。調査に際しては、知事が任命した調査員がお伺いするので、年末年始のご多忙の中申し訳ないが、ご協力いただきたい。



問い合わせ　平塚市総務部総務課
統計調査係　内線348

昭和62年平塚市成人式の案内

日時　1月15日（木）
開場9時45分
会場　市民センターホール
・対象者　昭和41年4月2日から昭和42年4月1日までの出生者で、平塚市に住民登録がある方。
◉記念講演　テニスと私
神和住　純氏
※当日は、簡素な服装でご参加を。出席された方に、市から記念品を贈る。



広報手帳

家庭看護法講習会

▽日程　1月20日（火）から25日（日）までの5日間
・平日　午後6時30分～9時
・休日　午前10時～午後4時30分
▽会場　福祉会館
▽受講資格　全日程参加できる義務教育修了者
▽受講料　無料
▽締め切り　1月10日（土）
▽申し込み先　市福祉総務課庶務係（内線二一七）

青少年のつどいが

県立湘南青少年の家では、ふるさとをつくる青少年のつどい86の参加者を募集している。
▽日程　12月25日（木）～26日（金）1泊2日
▽対象　中・高校生、青年50人
▽参加費　無料
▽問い合わせ先　県立湘南青少年の家（電話61－〇六七六）

公民館管理人募集

▽勤務場所　八幡公民館
▽業務内容　館内外の清掃、職員不在時の留守番等
▽手当　月額三万五千六百円
▽管理人室　木造平家建て（6畳、4・5畳、台所、風呂場）
▽入居予定　1月中旬
▽応募資格　①市内に住む心身ともに健康な婦人で配偶者と住み込み可能な方　②満60歳以下の方
▽申し込み　12月24日（水）までに市販の履歴書（写真添付）を社会教育課（内線五二四）へ
▽面接日　12月26日（金）

精薄者（児）愛護写真作品展示会が

中地区に住む、知恵おくれの障害をもつ人たちの作品展が開かれる。
▽日程　12月17日（水）～20日（土）の午前9時～午後4時
▽会場　秦野市文化会館
▽問い合わせ　精神薄弱者授産施設　松下園（電話75－二六八九）

スポーツ教室開く

県立西湘地区体育センターでは、体力つくり・スポーツ教室を開く。

【テニス教室】
▽日程　1月13日（火）～2月19日（木）の毎週火・木曜日
・時間　13時30分～15時30分
・申し込み受け付け日　1月6日（火）13時30分
・対象　一般（初心者）　40人

【親と子の体力つくり教室】
▽日程　1月14日（水）～3月18日（水）の毎週水曜日
・時間　14時～15時30分
・申し込み受け付け日　1月7日（水）14時
・対象　親と子（4～6歳）30組

【卓球教室】
▽日程　1月30日（金）～3月3日（火）の毎週火・金曜日
・時間　10時～12時
・申し込み受け付け日　1月20日（火）10時
・対象　一般　40人
▽受講料　一千円（当日納入）
▽会場　西湘地区体育センター
▽問い合わせ　平256小田原市酒匂1－1－26　西湘地区体育センター　電話〇四六五（48）二六五〇

登録申請は早めに

法務局の登録事務は、12月27日（土）まで取り扱う。
しかし、年末は登録事務が急激に増加し、相当雑が予想される。登録申請、登記簿謄本・抄本などの請求は、お早めに。
問い合わせは、横浜地方法務局平塚出張所（電話22－六五五七）へ。

融資利率の改定が

平塚市中小企業融資制度の融資利率が、12月1日融資実行分から、短期については〇・二五%、長期については〇・二%の幅で引き下げられた。
詳しいことは、市商工課商業係（内線五四八）へ。

放送大学生を募集

放送大学は昭和62年度第1期の学生を募集している。
▽出願受付　12月1日（月）～1月31日（土）
▽授業開始　4月1日から
▽問い合わせ　平232横浜市南区大岡2－31－1　放送大学神奈川学習センター　電話〇四五（七二二）二二一一

犬、ねこの巡回収容

1月10日（土）		1月31日（土）	
9：00	松原公民館	9：00	神田公民館
9：20	須賀公民館	9：25	大野公民館
9：40	花水公民館	9：50	豊田公民館
10：00	富士見公民館	10：10	城島公民館
10：30	中原公民館	10：30	金田公民館
10：55	旭公民館	10：50	岡崎公民館
11：15	吉沢公民館	11：10	金目公民館

あたたかいこころ

（敬称略）
▽社会福祉募金へ　・明神せい　矢口房　矢口万円、平塚ロータリークラブ会　五千円九十一円、福祉会募金箱　九千百九十一円、霧木留吉　四千八百九十八円、平塚看護専門学校学生会　三万五千円、平塚ライオンズクラブ　一万円、井上好子　一千百七十二円、土沢ボランティア協議会　二十一万六千円、ハンガリー大使館　一万四千円、体育ク金田地区大会実行委員会　一万円、城島小PTA　一万円、湘南中央広告美術協会　一万百円、紳士婦人子供服縫製工業組合　三万二万七千八百九十一円、中央印章業組合　三百五十一円、自転車商協同組合　五千二百円、平塚塗装着板業組合　二万六百五十円、湘央表具内装協会　二千百八十八円、平塚左官組合　六千三百六十円、平塚建築板金組合　一万五千百五十円、相模蚕の市実行委員会　一万円、カルチャー教室講師会　一万一千円、大谷友子　一万円、真土青年会　九千三百五十円、真土青年会・吉沢青年親和会・金田　旭青年団・青年教室・ジュニアリーダーズクラブ・エンジョイフレンズ・環境浄化員連絡協議会・母親クラブ連絡会・国際ソロプチミスト平塚・鎌田玲子　二万三二千百九十六円、高橋富士雄　一二千百十二円、林屋酒店　一千百八十九円、川嶋昭　二万五百八十九円、一隅を照らす運動神奈川地方本部　五十六万千百五十四円、政川友治　二万円、岸ユキイ　三千円、二見造元　一万三三千円、生花小売商業　七百三千一円、生花小売商業協同組合　三万八千八百円、園芸協会花き部会　六万五千五十円、姉妹　一万七百八円、西川扇千代　三万円、鈴木内外科医院　六千七百九円、高村団地不用品交換会　四千百五十円、鈴木篠枝　二千円、みつけ市出店者　二万六千円、老人福祉センター利用者　一千九百五円、資源化展古本コーナー　収益金　四万一千九百六十八円、匿名　五千円・三千円・八百十円
▽老人福祉へ　・小山田トラ　五万円
▽交通遺児へ　・平塚一輪車協会　五万円、真土ダンス愛好会　五万円

ひらつかさん

おつかれ「ボクもいねむりしたことあったね」

声のひろば

市民から寄せられた"声"、住んでよかったという街づくりを

今年、声のひろばに寄せられた市民の皆さんの"私の意見"の中から、そのいくつかを紹介します。

▽花水川に水林公園を

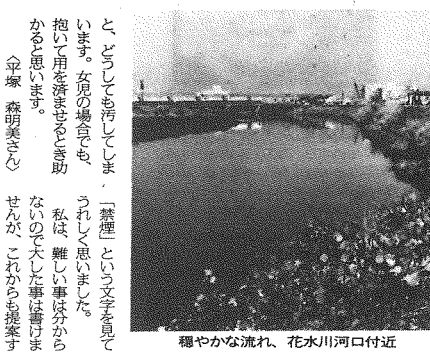
河口から東海道本線までの間に、水林公園を造ったらどうでしょうか。花水川の両岸に桜の木を植え散歩道を造ります。川を整備し、ボート遊びができるようにしたり、流水域に生息する動植物を集めた博物館や、川をはさんでステージと観覧席のある水上公会堂を造ってもよいでしょう。
〈西八幡　袋瀬健氏〉

▽公共施設の婦人用トイレに男児用便器の設置を

市内には各種の立派な公共施設があり、平塚市に住んでよかったと思っています。しかし、三歳の男児を持つ母親としていつも不便に思うことは、どの施設の婦人用トイレにも男児用の便器がないことです。婦人用の便器で用をさせますと、どうしても汚してしまいます。女児の場合でも、抱いて用を済ませるとき助かると思います。
〈平塚　森明美さん〉

▽図書館の二階が禁煙に

私は市長への手紙で、図書館の二階を禁煙にして欲しいという意見を出しました。この前図書館に行って「禁煙」という文字を見てうれしく思いました。
私は、難しい事は分からないので大した事は書けませんが、これからも提案するつもりです。この制度は市民の声そのものですし、貴重な制度だと思います。ずっと続けてください。
（匿名希望）

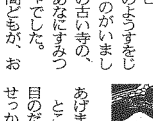

穏やかな流れ、花水川河口付近

教育相談

教育研究所 33-5535

おしつけ

息子の大学受験がもとでいさかいが絶えず、どうやって息子を説得したらよいか、ということでお父さんが教育研究所に相談にみえました。
お父さんは、付属高校に入ったのだからそのまま上の大学に行くべきだと、あたかも息子を自分の思う通りにできるかのようでした。お父さんの不満は、母親にもおよび、「母親というのは普段から子どもとあれこれと話し合って、父親というのは決断をするだけでよいと思う。それなのに妻はそういうこともできず、何から何まで自分がしなければならない」と訴えます。
お父さんは昨年まで、バリバリと仕事をこなし、あと一年たてば、希望のポストにつけるという時に、身体をこわしてしまい、思うように仕事ができなくなってしまいました。子どもはこうあるべきである、妻はこうあるべきである、という枠が身体をこわしてからより強くなってしまったようです。
何回か面接を重ねる中で、お父さんは、「実は、相談に来るのは、自分が間違っていると言われるようで怖かった。私自身今までの第二の人生をどうやって過ごしたらよいのか、不安と焦りでどうしようもなかったのです。息子が反抗するのも分かるようになってきました」と語ってくれました。お父さんのこうあるべきという枠が強くなった背景には、自分自身の不安や焦りといった気持ちが隠されていたようです。
このお父さんのように、自分自身の枠が強すぎる人には、背後に不安や焦燥感や自信のなさといった気持ちが隠されていることがあるようです。



愛の献血

◇日程
12月17日10時～15時　平塚駅北口／12月25日10時～15時　平塚駅南口／12月26日10時～15時　平塚駅北口（東海大ローターアクトクラブ）／1月4日10時～15時　紅谷パールロード／1月6日10時～12時　消防訓練所・雨天10時～15時　平塚駅北口／1月8日13時～15時　平塚駅北口／1月9日10時～15時　平塚市役所

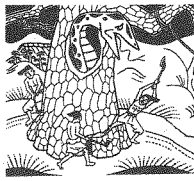
◇ご協力ありがとうございました（11月）
東海大（体育祭運営委員会）406本、平塚駅北口10本、富士チタン工業36本、中央農協岡崎支所（岡崎地区）25本、金田公民館（金田地区）20本、八幡公民館（八幡地区）27本、平塚農業高校91本、四之宮公民館（四之宮地区）10本、サンシャイン平塚（大神、田村地区）29本、平塚江南高校123本、高浜高校196本、ダイクマ平塚店（なでしこライオンズクラブ）158本

平塚の民話　昔ばなし　その9

こがの渡し

―小鍋島―

むかし、小鍋島と沼目のあいだには、大きな沼がありました。みんなは舟で、いったりきたりしていました。この舟でわたるところを「こがの渡し」といったそうです。
ところで、そうたいした距離でもないのに、いちいち舟にのらなければならないというのは、とても不便でした。そこで、いっそのこと、土をもりあげて、沼の中に道をつくったらいいだろうということになりました。
さっそく村じゅうの人たちが総出で、沼をうめて道をつくる仕事をはじめました。仕事はおもったようにはかどりませんでしたが、みんないっしょうけんめいに力をあわせたので、どうやら道ができあがりました。
「よかった、よかった。これであしたからは、自分の足で沼をわたれるぞ。」
ところが、このようすをじっと見ているものがいました。それは沼目の古い寺の、大きな松の木のあなにすみついていたむじゃでした。
「なまいきな人間どもが、おれさまのゆるしもなく、沼に道なんをつくりおって。どうするか、見ておれ！」
そして、夜がふけると、のそりのそりと沼にやってきて、めちゃめちゃにあばれて、村のくがせっかくつくった道を、ひと晩のうちに、きれいさっぱりと、くずしてしまったのです。



つぎの日の朝、きょうからあるいて沼をわたれるというので、よろこんで沼へきた人たちは、びっくりしました。
「ありゃあ！　道がきえちまった！」
みんなはがっかりしました。でも、だれいうとなく、もういちどつくりなおそうということになり、また、みんなが力をあわせて、道をつくりなおしました。
つぎの日の朝、きょうからまた沼をわたれるようになりました。
「なまいきな人間どもが、おれさまのゆるしもなく、沼に道なんをつくりおって。どうするか、見ておれ！」
そして、夜がふけると、のそりのそりと沼にやってきて、めちゃめちゃにあばれて、村のくがせっかくつくった道を、ひと晩のうちに、きれいさっぱりと、くずしてしまったのです。
ところが、その夜、また沼目のだいじゃがあらわれて、せっかくつくった道をこわしてしまったのです。
「いったいどうして、道がきえてしまうんだろう。」
つぎの日、みんなは沼をみながら考えました。
「おい、ちょっと見ろよ。なんか、するする重いものをひっぱったようなあとがついているぞ。」
みんなが、そのあとをたどっていくと、寺の境内の大きな松の木のところへきました。しかも、その松の木のあなの中で、だいじゃが昼寝をしているではありませんか。
「うーん！　こいつのしわざか。せっかくつくった道を二どまでこわすとは、ゆるせねえ。」
こんどは、村の人たちが総出で、木を切りはじめました。
これには、だいじゃもびっくりして、あわてていました。
「おねがいだ、やめてくれ！この木を切られたら、いるところがなくなっちまうよ！」
これを聞いた村の人は、「なにをいうか！　おれたちが苦労してつくった道を、おせっかいばっかりしたくせに。かまわねえ、切っちまおう！」
と、まえよりいっそう、せいだして木を切りはじめました。さすがのだいじゃもこまって、なき声をだしました。
「わるかった、わるかった！もうしない、もうしないから木を切らないでおくんなさい！」
村人たちは、どうしたものか、相談しました。そして、だいじゃに約束させました。
「これからは、おれたちのいうことをきくなら、木は切らない。」
「へえへえ」
「村の人たちには、ぜったいわるさはしないこと。」
「へえへえ」
「道をつくるのを、手つだうこと。」
「へえへえ」
「よし、それならゆるしてやろう。いまから、道をつくるから、手つだえ！」
「へえへえ」
というわけで、だいじゃも、あせをかいて、せっせと道づくりの手つだいをしたそうです。

・郷土誌「こがしばなし平塚ものがたり」より